



発行所 日本看護連盟
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
Tel 03-3407-3606 Fax 03-3407-3627
発行人 草間朋子

No. 375
2018年4月19日号



自由民主党看護問題対策議員連盟総会開催

平成30年度自由民主党看護問題対策議員連盟（看護連）総会が、4月13日、衆議院第一議員会館で開催されました。看護連所属の国会議員が多数参加し、また都道府県看護連盟の各会長・日本看護協会の役員をはじめ、看護関係団体の代表者、看護関係省庁の担当者が出席しました。

事務局長のたかがい恵美子参議院議員が司会を務め、議事が進行しました。

最初に、会長の伊吹文明衆議院議員が開会の挨拶に立ちました。伊吹会長は「これから国会で働き方改革法案が審議されていく予定だが、医療職に関してはまだ詳細が詰められていない。働きやすい環境にするためにはどうすればいいか、皆さんからも意見を出してほしい」と述べました。

つづいて、たかがい事務局長が、平成29年度事業報告・会計報告ならびに平成30年度事業計画案を発表しました。平成30年度の事業計画案では、例年の事業に加え“ナーシングナウ”への参加協力および意見具申などの必要な政治活動を行うためワーキンググループ（WG）を起ち上げると表明。

各報告案、事業計画案が了承されました。

“ナーシングナウ”は、ナイチンゲール生誕200年（2020年）を機に、世界各国において看護の発展を保健政策の中心に位置づけ、教育および職業訓練の充実を通じて看護師が十分に活躍できる仕組みづくりに取り組むというキャンペーン。なお、看護連のナーシングナウWGには、猪口邦子参議院議員・田村憲久衆議院議員（副会長）、あべ俊子衆議院議員（幹事長）、赤澤亮正衆議院議員・伊藤信太郎衆議院議員・越智隆雄衆議院議員・土屋品子衆議院議員・堀井巖参議院議員・堀内詔子衆議院議員・和田義明衆議院議員（幹事）、たかがい恵美子参議院議員（事務局長）、尾身朝子衆議院議員（事務局次長）の各役員が参加されます。

つぎに関係団体から要望書が伊吹会長に提出されました。日本看護協会・日本看護連盟は「地域包括システムの推進等に関する要望書」を提出。このなかで、①看護師基礎教育の4年制化の実現、②訪問看護提供体制の推進、③在宅領域で働く看護職員の処遇の改善、④夜勤・交代制勤務の特性に鑑みた適切な規制の実現、⑤看護関連事業への「地域医療介護総合確保基金」の適切な活用と拡充、⑥控除対象外消費税への対応、を要望事項として掲げました。

このほか、日本助産師会、日本精神科看護協会、日本訪問看護財団、全国訪問看護事業者協会、全国保健師教育協議会、全国助産師教育協議会、日本看護系大学協議会が要望書を提出しました。このあと、関係省庁の取り組みなどについて各担当者から説明がありました。

会長代理の細田博之衆議院議員が閉会の挨拶をし、無事総会を終了しました。



平成30年度第1回

都道府県看護連盟会長会開催

4月13日、衆議院第二議員会館において、平成30年度最初の都道府県看護連盟会長会が開催されました。

午前の部では、各委員会（「現場の声」活用促進委員会、機関誌編集委員会、青年部活性化検討WG）からの報告、本年度のブロック協議会会長・各委員会の委員の発表などがありました。自民党看護連総会参加のため、一時中断。

午後の部では、国会議員の活動報告がありました。たかがい恵美子参議院議員、木村弥生衆議院議員、石田まさひろ参議院議員、あべ俊子衆議院議員が、順に現在の取り組みなどについて話されました。

このあと、協議事項として、主に日本看護連盟規約等の改正（案）について、平成30年度通常総会に提出される関係資料などについて議論が交わされました。

協議のあと、大阪府看護連盟の小阪佳代会長から、大阪府の「看護を考える地方議員の会との連携」について発表があり「看護職員の事務作業の効率化のための制度改善を求める意見書」を、看護を考える地方議員の会と大阪府看護連盟が共同で、総理大臣と厚生労働大臣に提出した経緯が紹介されました。